

# 複数XYスライドショーのCD化

(いろんなイベント写真を1枚のCDに入れて友達にあげよう)

イベント写真をスライドショーにして、CDに焼いておけば単に写真を見るだけとは違った楽しみがあります。でも、1枚のCDに一つだけのイベントではちょっとCDがもったいない。

そこで、いろいろなイベント写真のスライドショーを1枚のCDにまとめて、目次を見ながら次々と楽しむというのはどうでしょうか？

今回は、配布している①「3つのスライドショー」と、②「目次用のワード文書」を使って、目次からXYスライドが起動するようにリンクを張ることに、「ATRUNSET」を使用してCDをパソコンに入れたときに自動的にCDが起動して目次が表示される方法を勉強します。

ATRUNSETは会場で配布しますが、下記URLからダウンロードできます。

<http://www.vector.co.jp/soft/dl/win95/util/se185547.html>

圧縮ファイルの「ATRUNSET」がダウンロードされるので、これを右クリックし、「すべて展開」をクリックする。

デスクトップの本日の資料のあるフォルダを開き、中の「CDのデータ」フォルダをデスクトップにドラッグする

## 1 事前準備

CDに焼くXYスライドの設定を変えます。

配布物の「本資料」の中には3つのフォルダがありますが、これはそれぞれが今回CDに収録する「XYスライド」です。

「01結婚」フォルダを開き、中の「xyslide.TXT」アイコンをクリックして設定の画面を表示します。



「再生回数」の▼をクリックし、「一回 排出無」を選択する。  
「startup.txt作成」をクリック。  
右下の「終了」ボタンをクリックする。

他の二つのXYスライドについて同様に設定を変える。

## 2. リンクを張る

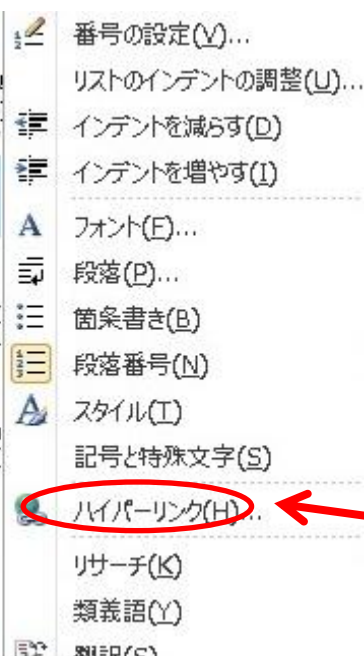
目次の「1. 結婚」から「XYスライド」の「01結婚」フォルダ内にある「xyslide.W/xyslideW.exe」にリンクを張る

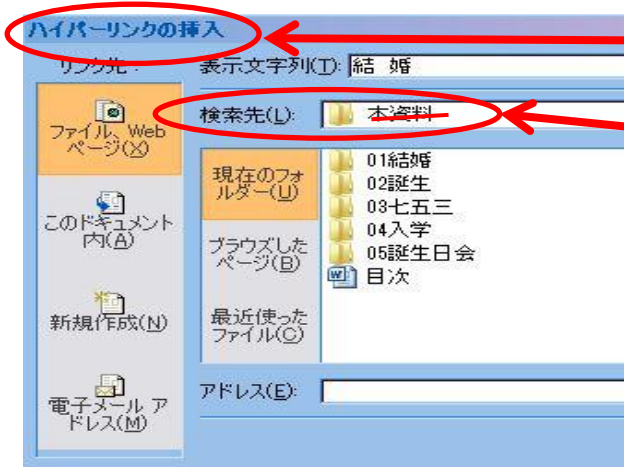
リンクを張るとはということ??  
⇒目次の「結婚」をクリックすると、「結婚」のXYスライドが動くようにすること。

① 目次の「結婚」の文字をドラッグして選択  
⇒その上で右クリック⇒ドロップメニューの「ハイパーリンク」をクリックする。

いろいろな

1. 結
2. 誕
3. 七
4. 入
5. 誕

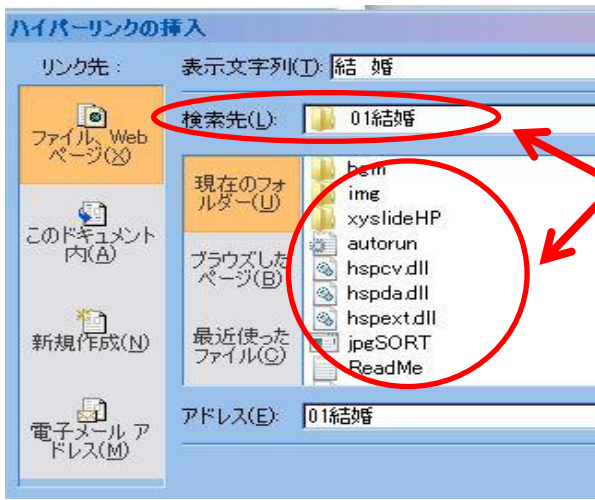




② 「ハイパーリンクの挿入」ウィンドウが開く  
「CDのデータ」

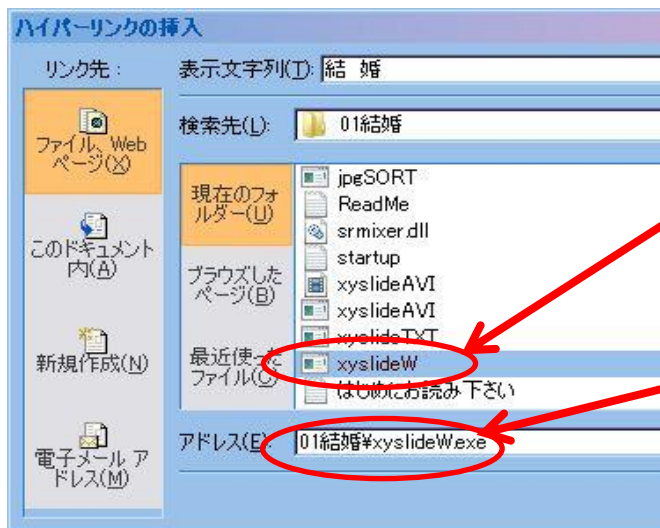
「検索先」が「本資料」となっていることを確認。  
異なる場合は、「検索先」右側の▼をクリックし、探す。

窓の中の「01結婚」をダブルクリック



③ 窓の中が変わる。

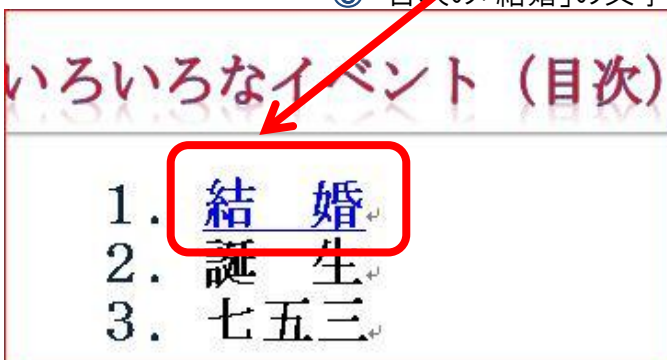
「検索先」が「01結婚」となっていることを確認する



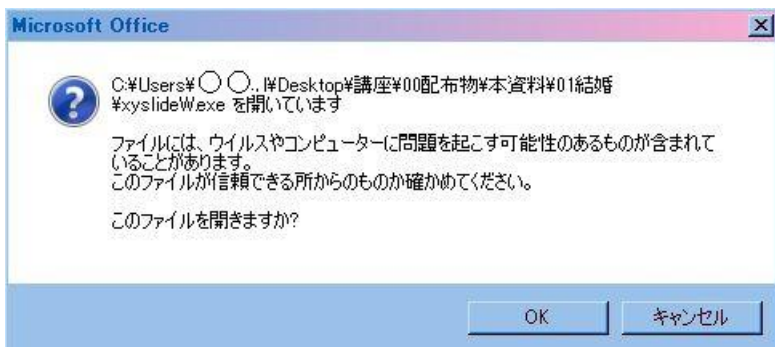
④ スライダーを下げて下から2番目の「xyslideW」又は「xyslideW.exe」をクリック

アドレス欄に「01結婚\xyslideW.exe」が出たのを確認して、「OK」をクリック

⑤ 目次の「結婚」の文字が青色に変わり、下線が付いてリンクが張られたことが分かる



リンクが張られたことを確認するため「結婚」の上にもマウスポインタを置くとリンク先へのパスと、「Ctrlキーを押しながらクリックしてリンク先を表示」と出る



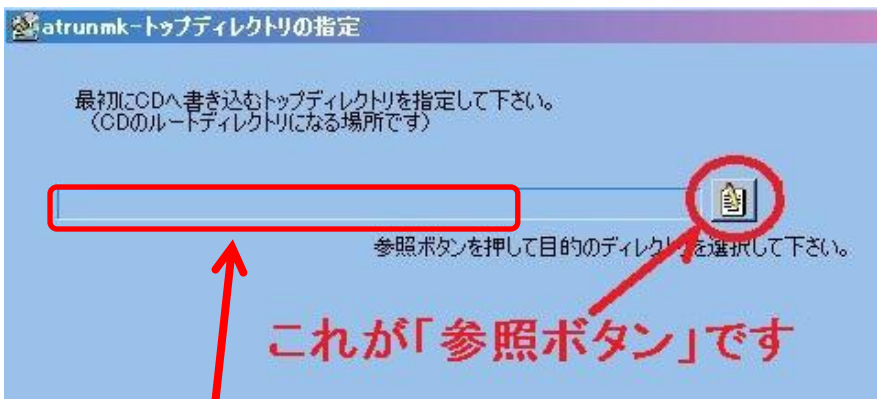
Ctrl+クリックすると、ウイルスの警告が出る。  
「OK」をクリックすると、XYスライドの「結婚」が始まる。  
「2. 誕生」と「3.七五三」について同様に①～④の操作を行い、リンクを張る。

各々にリンクが張れたら、ワードの変更を保存してワード文書を閉じる。

## 2. CDの自動起動ソフトの作成

① ~~CDに収録するデータを一つのフォルダに入れるためにデスクトップにフォルダを作り、名前を「CDのデータ」とする。このフォルダに、「1. 結婚」から「3. 七五三」の3個のXYスライドと、リンクを張った「目次」をドラッグして入れる（いずれも、配布物フォルダの「本資料」の中にある）~~

② 配布物の中の「ATRUNSET」をクリックし、中の「atrunmk」をクリックする。

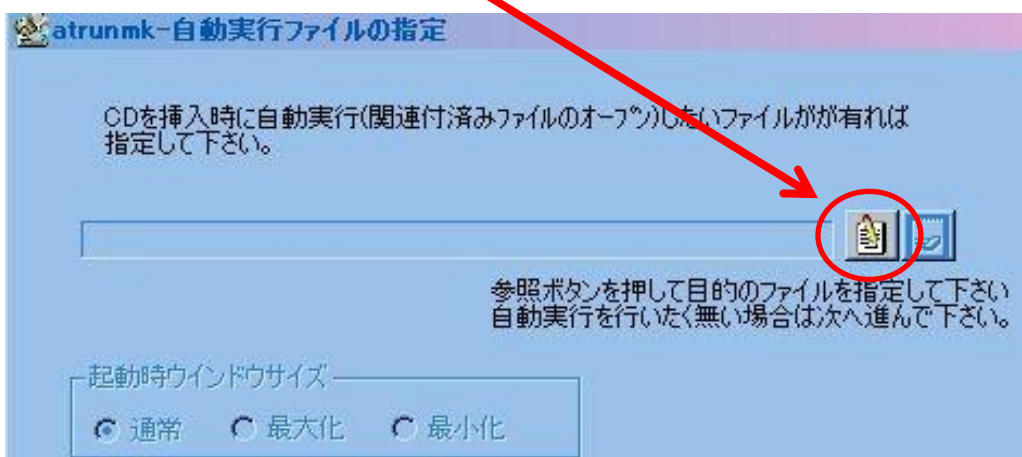


「トップディレクトリの指定」ウインドが開くので、CDに書込む内容の入ったフォルダ（CDのデータ）を指定するため「参照ボタン」を押し、デスクトップの「CDのデータ」フォルダを

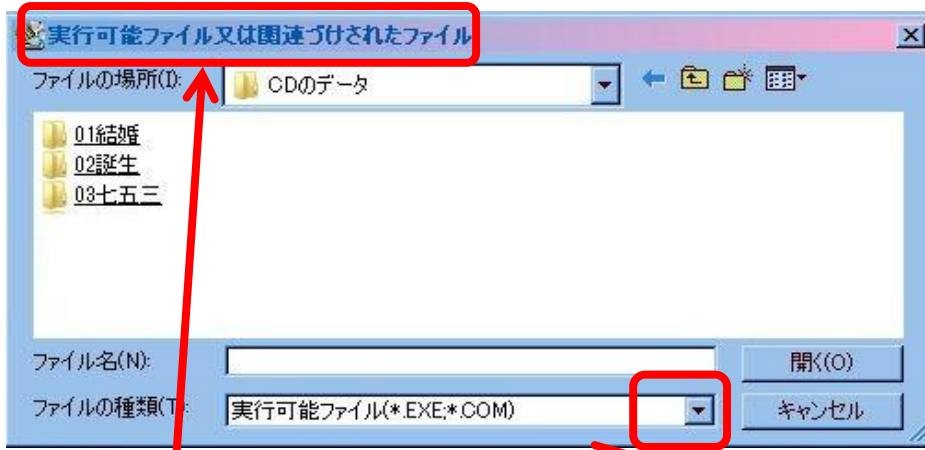
クリックし、「OK」ボタンをクリックする。

③ パスの指定欄に「C:\Users\...\Desktop\CDのデータ」が入ったことを確認。「次へ」ボタンをクリック。④ 「アイコンファイルの指定」ウインドウがでる。特別のアイコンは用意していないので「次へ」ボタンをクリック。

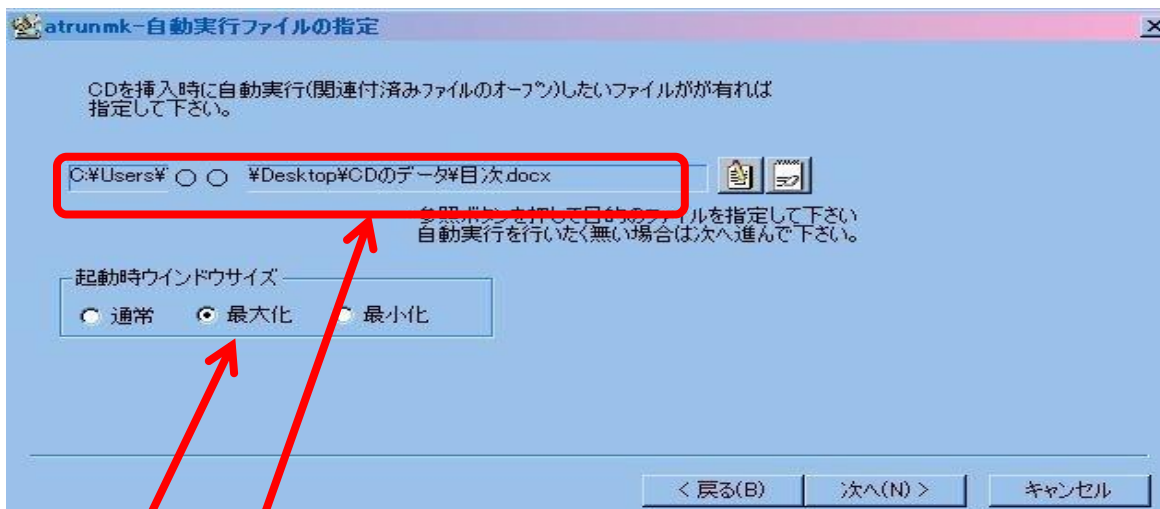
⑤ 自動実行ファイルの指定」ウインドウが開く。ここでは、CDをパソコンに挿入したときに最初に表示されるファイルを指定するので、WORD文書の「目次」を指定するため、「参照ボタン」をクリックする。





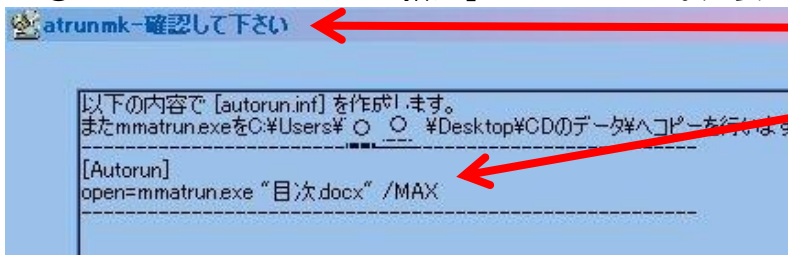


「実行可能ファイル又は関連付けされたファイル」ウインドウが開く。  
 「ファイルの種類」の▼をクリックし、「関連付けされたファイル」を選択すると  
 ウインドウ内にWORD文書の「目次」が表示されるのでこれをクリックする。



ファイルの指定欄に「C:\Users\%O% \Desktop\%CDのデータ\目次.docx」が入ったことを確認する  
 「起動時ウインドウサイズ」は最大化にしておく。「次へ」ボタンをクリック。

⑥ 「コンテキストメニューの指定」ウインドウがでる。必要が無いので「次へボタン」をクリック。



「確認してください」ウインドウがでる。  
 [Autorun]  
 open=mmatrun.exe "目次.docx" /  
 MAX」となっているはず。  
 「完了」ボタンをクリック



「autorun.infを作成しました」ウインドウが出る  
 [OK]ボタンを押す。

⑦ デスクトップに作成した「CDのデータ」  
 フォルダの中に  
 中に「autorun」「mmatrun」の二つの  
 アイコンができていることを確認。

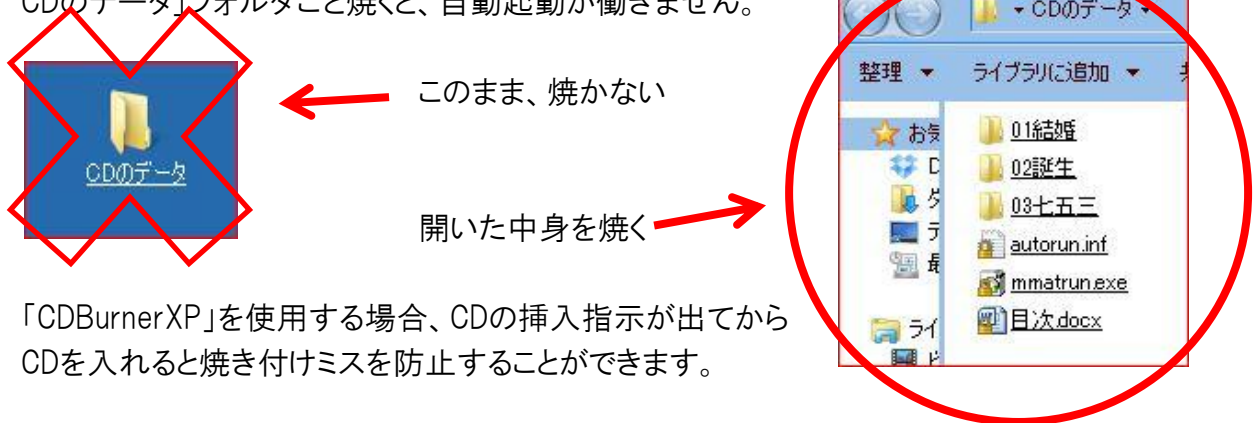
### 3. CDへの焼き付け

①CDへ焼き付けるためにはライティングソフトを使います。今までに勉強した「CDBurnerXP」(注)やパソコンに内蔵するソフトを使用して焼き付けます。

(注) 9月18日「写真の保存」、8月12日「カセットテープのCD化」で勉強

この時注意することは、「CDのデータ」フォルダをそのまま焼くのではなくて、フォルダを開いた中にあるものを焼きます。

CDのデータ」フォルダごと焼くと、自動起動が働きません。

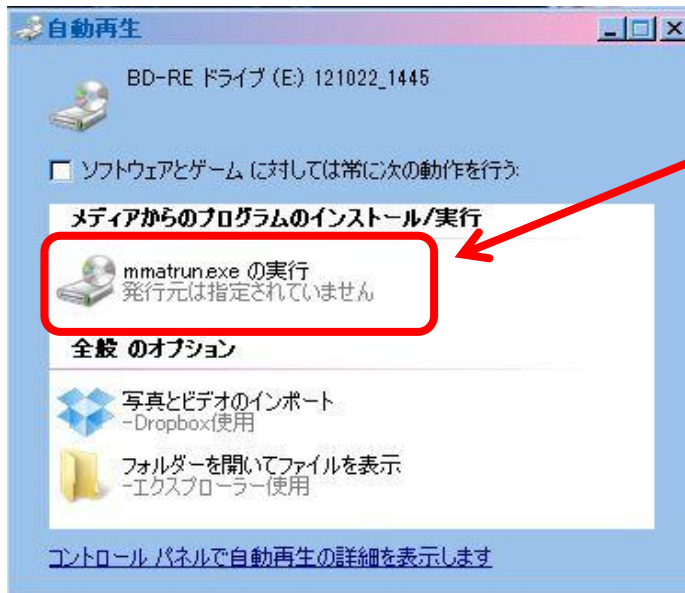


「CDBurnerXP」を使用する場合、CDの挿入指示が出てからCDを入れると焼き付けミスを防止することができます。

### 4. CDの再生

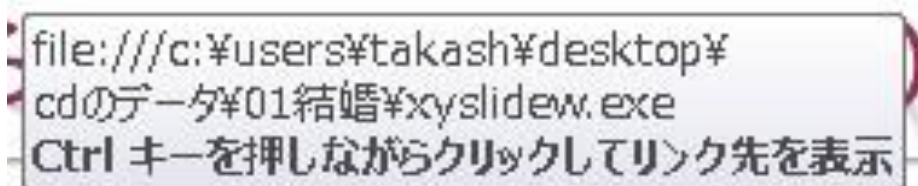
XYスライドを見る方法です。

①CDをパソコンのCD/DVDトレイに挿入する。



「自動再生」のウィンドウが開くので「mmatrun.exe」をクリックする。

WORD文書の「目次」が開くので、中の見たいイベント名の上にマウスポインタを置くと表示が出る



Ctrlキーを押しながらクリックするとそのイベントのXYスライドが動く。

再生が終わると再度「目次」が表示されるので、同様にして次に見たいイベントをCtrlキーを押しながらクリックする。